

大阪病院だより

すこやか

2021年
7月
開院予定

大阪病院はJR寝屋川公園駅の
西へ300mのところに**新築移転**いたします



診療部内科医師
上月 雅子

「初心にもどって感染対策～ウイルスを「見よう」!!」

十分な抗生剤が無く、抗ウイルス剤なんて～という時代、先輩方はどのように感染症に立ち向かっておられたのでしょうか？

研修医時代、手洗いの仕方やマスク・手袋・ガウンの着脱等々、先輩に厳しくご指導いただきました。「そこ不潔になった！やり直し！（清潔不潔の境がわからないと）見えへん病原体を運んでしまうで！そのせいで誰かが命を落とすかも（しれないで）！」今ならパワハラと言われそうですが、最近しみじみ思えます。豊富な薬剤に甘え、いつのまにか基本を、以前の緊張感を忘れていたかもしれません。ウイルスが付いている可能性があるところ（不潔区域）とそうでないところ（清潔区域）、境目の「線」を想像しながら、**見えないウイルスを「見る」ようにしてみましょ！**

皆で生き残るために、まずはワクチン・治療法が確立するまで頑張りましょ！

INDEX

P1 ▶ 病院職員からのメッセージ

P2 ▶ チーム医療で肺がんに対応します

P3 ▶ 大阪病院から大阪複十字病院へ

P4 ▶ 外来診療一覧表／訪問看護室の紹介／表紙写真注釈



チーム医療で 肺がんに対応します

2018年にがんで死亡した人は37万人余り、死亡数が多い部位は肺が男性で1位、女性で2位となっています。また平均寿命が男性81歳。女性87歳となっている現在、肺がんの手術を受けられる平均年齢も70代近くになってきています。小生が最近肺がんで手術対応した平均年齢は71歳であり全国平均より高い傾向にあります。高齢になられると慢性閉塞性肺疾患（COPD・肺気腫）や高血圧症・糖尿病などの合併症を持たれた方が多くなりますので、未治療の患者さんに対しては吸入療法の導入と共に術前・術後に積極的な呼吸・運動リハビリテーションを実施するなど様々な工夫を行っています。

① 術前の合併症に対する対応

術前にまず必要なのは禁煙です。術後の呼吸器合併症のリスクを減らすためには最低でも術前4週間の禁煙が必要とされています。以前の喫煙が大きく影響する慢性閉塞性肺疾患（COPD・肺気腫）を持たれている方には内科医の判断で吸入療法を導入します。最近では多くの形態の薬剤がありますので吸いやすい薬剤を選んでいきます。糖尿病も多い合併症なので、術前後だけインスリンを使用することもあります。

② 手術の合併症を減らし回復を早める リハビリテーション

リハビリといえば、捻挫や骨折の後にするものと思われるかもしれませんが。またがんと診断されると、安静にしなければと思い今まで行っていた散歩も含めた運動を止めてしまう方もいらっしゃいます。体力の低下は手術や、その後の抗癌剤治療に影響を与えますので積極的に体を動かすことが大切です。

術前のリハビリに、具体的には呼吸訓練装置を用いて呼吸筋を鍛えます。アメリカのガイドラインでは1日に10回の呼吸訓練を10セット行うように推奨されていますが、



▲呼吸訓練装置

当院では無理のないように呼吸訓練を指導しています。また筋力トレーニングは足やお腹の筋肉などを鍛えます。膝が痛くて運動制限がある方にはエアロバイクによる運動療法を行います。

このエアロバイクによるトレーニングを術前4週間施行すると、手術関連死がなかったとの報告がありますので適応症例には積極的に用いています。

③ 低侵襲な手術方法

呼吸器外科領域の低侵襲の流れには二通りあり、

- ①切除量を縮小して低侵襲化する方法と
- ②胸壁の損傷を少なくして低侵襲化するものがあります。当院では②に対応するために創が小さい胸腔鏡補助下手術を積極的に取り入れています。

④ 術後早期のリハビリテーション

術後は早期に呼吸訓練の再開と早期離床を促す事によって合併症の軽減に優れた効果をもたらしています。赴任して間もないのでお示しできるクリニカルインディケーターはありませんが、肺癌の5年生存率は前任施設では全国平均より良好な結果を示しておりましたので、引き続き少しでも患者さんに貢献できればと思っております。

何卒宜しくお願い申し上げます。



▶プロフィール

タナカ ノブヤ

田中 順也

大阪病院外科

生年月日：1960年1月21日

出身校：近畿大学医学部大学院 1990年卒

職歴：近畿大学医学部附属病院

枚方公済病院 呼吸器センター長

2020年7月に大阪病院着任



完成予想図

大阪病院から 大阪複十字病院へ

大阪府結核予防会 大阪病院は、1954年に療養所として発足し1976年に現在の大阪病院となりましたが、2021年7月に移転し大阪複十字病院に生まれ変わります。

開業に向け、新病院の建設工事は予定どおり始まっております。新病院は、寝屋川市の立地適正化計画に基づき、再開発が進められているJR寝屋川公園駅から約300mの場所に、現在の病床数を維持し、広域対応の結核感染症医療に加え寝屋川市や近隣の地域医療の中核を担う病院として、運営する予定です。



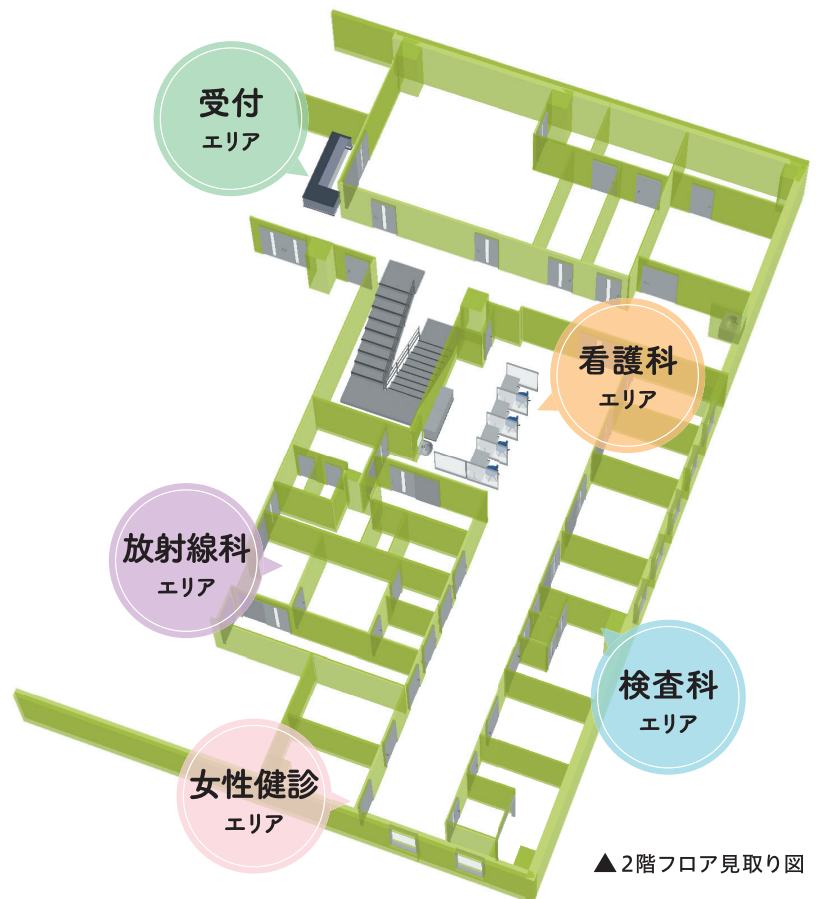
▲ 移設予定地

2階には 『健康診断専用フロア』 を設けます



新病院の2階には、人間ドックや生活習慣病予防健診、定期検診などを行う健康診断専用のフロアを設けます。

病気は健康診断による予防が第一です。地域の皆さまが健康で豊かな充実した日々を送れるように、病気の早期発見、そして早期治療に貢献して参りますのでよろしくお願いたします。



▲ 2階フロア見取り図

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前	一診	奥田	猪頭	消化器内科 桑原	行木	木村	【第二】吉峰 【第四】吉峰
		二診	村上	東口	三宅正	糖尿病外来 森田	三宅正	
		三診(初診)	軸屋	松本	前倉	奥田	東口	
	午後	一診	三宅正	三宅正	木村	西岡	西岡	
		二診	睡眠時無呼吸外来 松本	リウマチ外来 前田	軸屋	リウマチ・腎臓外来 川上	禁煙外来 上月	
		三診		松本	睡眠呼吸障害外来 奥田	呼吸器外来 松本	前倉	
外科	午前	田中	禁煙外来 相良	田中	相良			
	午後	消化器外科 富士原						
整形外科	午前	一診	北村	山本	中嶋	山本	北村	
		二診			山本 (予約制)	【第一】脊椎外来 (予約制)	リウマチ外来 (予約制)	
	午後	一診	手術	北村	手術		中嶋	
		二診				検査		
皮膚科	午後	上尾	山崎			中谷		
神経内科	午前					植木		
泌尿器科	午前	小池	國方 手術	小池	小池	小池		

！ 訪問看護室の紹介 退院後のアフターケアはお任せください

訪問看護とは、看護師がご自宅に訪問し、ご本人、ご家族を支援させていただくというものです。その目的は在宅で継続して体調管理を行い、安心してご家庭で過ごしていただけるようにすることです。特に、退院直後から利用していただくことで、体調の悪化や身体機能の低下を防ぎ、異常の早期発見、再入院の予防につながります。またご家族へ介護方法の指導や相談、精神的なサポートもさせていただきます。ぜひ一度ご相談ください。



！ 表紙写真注釈【建設中の新病院】

新病院である大阪複十字病院の8月半ば時点の写真です。寝屋川公園の丘陵地から、JR学研都市線『寝屋川公園駅』から約300mに位置する打上高塚町に移転いたします。



一般財団法人 大阪府結核予防会 **大阪病院**

〒572-0854
寝屋川市寝屋川公園2276-1
TEL: 072-821-4781(代表)
FAX: 072-824-2312
URL: <http://www.osaka-hospital.org>



14200043